

当科は

ロボット支援手術に

実績があります。



ダ・ヴィンチ Xi 運用開始後5年が経過しました

当科では、ロボット支援肺がん・縦隔腫瘍手術（保険承認）を2018年3月から開始し、過去5年間に約400名の患者さまにダ・ヴィンチ手術を受けて頂きました。

当院は肺がんでは大阪府第1番目の保険承認施設であり2022年の施行件数は大阪府内で第1位、西日本においては第5位でしたが、公立病院として第1位でした。

ダ・ヴィンチXi サージカルシステムを使用することで肺がん・縦隔腫瘍の患者さんに、より身体に優しく更に精密で安全な手術を提供できればと考えています。



小さな傷口



手術後の疼痛が軽減できる



回復が早い



合併症リスクの大幅な回避



池田直樹 呼吸器外科部長・院長補佐
がんセンター長
北海道大学卒
日本呼吸器学会 指導医
呼吸器外科専門医
医学博士（大阪大学）



山本陽子 呼吸器外科医長
関西医科大学卒
呼吸器外科専門医
医学博士（大阪大学）
白石綾 呼吸器外科医員
福井大学卒

当科は インテューティブ サージカル社指定 ロボット手術指導施設です





ダ・ヴィンチXiによる手術の実際



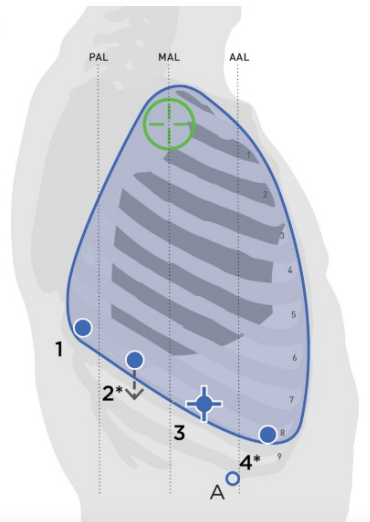
サージャン コンソール：
術者の「操縦席」

パシエントカート：
4本のアームをもつ「ロボット」



横になった患者さんに
ロボットの鉗子を
挿入します

全身麻酔導入後
胸部横から背中にかけて
計5ヶ所の小さな穴を
あけます



コンソールに座った
術者は
精細な3D画面を
見ながら



ハンドコントロールと
7つのペダルを
自在に操作して
手術を行います

